

第87期

期 末 報 告 書

(平成31年4月1日から)
(令和2年3月31日まで)



中日本興業株式会社

令和2年6月

株主の皆様へ

中日本興業株式会社

代表取締役社長 服部 徹

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は第87期（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績ならびに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

目 次

事業の概況	2
貸借対照表	5
損益計算書	6
会社の状況	7
「株主ご優待券」について	10
株主メモ／株式等に関するマイナンバーのお届けのお願い	

事業の概況

当事業年度のわが国経済は、米中貿易摩擦など通商問題の動向により、企業収益は慎重な見方で推移いたしました。企業は雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直しが見られ、回復傾向にありました。一方で、期末にかけて発生いたしました新型コロナウイルス感染症拡大からの経済活動の減速による景気の悪化が懸念され、先行きが見通せない状況にあります。

このような状況のもと当社では、お客様にとってより良い商品・環境の提供を心掛け、一層のサービスの充実を図り、お客様の感動の創造に努めてまいりました。

この結果、売上高は38億9百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益は1億37百万円(前年同期比9.4%減)、経常利益は1億58百万円(前年同期比3.1%減)、当期純利益は1億5百万円(前年同期比0.7%増)となりました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

【シネマ事業】

映画業界では、知名度のある多彩な作品がラインナップされました。特にアニメーションについては、興行収入の上位10作品のうち6作品が入るなど高稼働いたしました。令和元年の全国入場人員は前年比15.2%増の1億94百万人、興行収入は17.4%増の2,611億80百万円となり、入場人員・興行収入とも平成28年に記録した年間記録を更新いたしました。全国のスクリーン数については前年より22スクリーン増加し、3,583スクリーンとなりました。

当事業では、引き続き名古屋地区の映画・映像の情報発信基地として、複合エンターテインメントシネコンにふさわしい個性的な番組の効率的な編成に注力し、来場者人数の拡大に努めてまいりました。その結果、当社においても「ミッドランドスクエア シネマ」、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」におきまして、入場人員・興行収入とも年間記録の更新をいたしました。

また、12月には「ミッドランドスクエア シネマ」に「Dolby Cinema™ (ドルビーシネマ)」を中部地区で初めて導入いたしました。最新鋭の映像技術「Dolby Vision™ (ドルビービジョン)」、立体音響技術「Dolby Atmos® (ドルビーアトモス)」、そして「究極のシアターデザイン」を特長とし、これからのシネマコンプレックスに求められる最高品質の映画体験環境を提供させていただきました。

当事業年度は、邦画151作品、洋画167作品、アニメ69作品、ODS(映

画以外のデジタルコンテンツ)276作品の合わせて、663作品(前期末比25作品減)を上映いたしました。

主な上映作品としまして、邦画では、4月公開「キングダム」、5月公開「コンフィデンスマンJP」、8月公開「劇場版おっさんずラブ ～LOVE or DEAD～」、9月公開の「記憶にございません!」、洋画では、6月公開「アラジン」、10月公開「ジョーカー」、12月公開「スター・ウォーズ スカイウォーカーの夜明け」、1月公開の「パラサイト 半地下の家族」、アニメでは、4月公開「名探偵コナン 紺青の拳」、7月公開「天気の子」、「トイ・ストーリー4」、11月公開の「アナと雪の女王2」、ODSでは、4月公開シネマ歌舞伎「野田版 桜の森の満開の下」、8月公開のライブビューイング「Bring the soul : The Movie」などの番組を編成いたしました。

また、飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi.Coo.」、名古屋市中村区の「LA BOBINE ガレットカフェ」では、健康にこだわった素材を生かしたメニュー開発や、継続的に店内イベントを実施し、お客様に満足いただける店舗創りに努めてまいりました。

その他、新たな試みとしてスタートしております東海エリア発の本格的テレビシリーズとなるアニメ「シキザクラ製作委員会」におきましては、令和2年の放映を目指し、アニメ制作が順調に進んでおります。

この結果、当事業では売上高は34億88百万円、営業利益は1億30百万円となりました。

【アド事業】

当事業は、提案力と商品開発力の強化に努め、コインパーキング等のサイン工事においても販路拡充を目指してまいりました。

特に、東京都千代田区にあります「東京営業室」においては、関東圏のお客様に対し迅速で充実したサポートを提供し、より一層の取引強化をするとともに、更なる営業基盤の拡大と充実に注力してまいりました。

この結果、当事業では売上高は3億20百万円、営業利益は6百万円となりました。

今後の見通し

新型コロナウイルス感染症が拡大し、中長期的な経済活動の停滞や景気の冷え込みが懸念される状況となっており、当社においても映画公開の中止や延期、大部分の事業所の臨時休業など、深刻な影響をおよぼしています。

シネマ事業では、新型コロナウイルス感染症の状況を見極め、かつ十二分な対策を講じることで、安心安全な環境を創り、迅速な番組編成やODSを積極的に実施すべく、映画館に足を運んでいただけるための舞台挨拶、生ライブ公演など、近年着実に実らせてきたエンターテインメント性の高い劇場運営を行い、入場人員、興行収入を回復させたいと考えております。

飲食部門は、食材にこだわったメニューを開発し、お客様に安心して満足いただける店舗創りに努めてまいります。

アド事業では、「東京営業室」を軸に引き続き映画関連の業務に特化するとともに、コインパーキング等のサイン工事につきましても、積極的な営業活動に努めてまいります。

サービス業を営んでいる当社は、より良い商品を提供すること、そして、より良いサービスを提供するための人材育成、教育をすることにより、お客様に選ばれる施設となるよう、一層の精進をしてまいり所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	1,559,011	流 動 負 債	516,490
現金及び預金	1,067,524	買掛金	263,951
受取手形及び売掛金	106,021	リース債務	52,289
有価証券	300,000	未払法人税等	18,463
商 品	5,987	未払消費税等	726
前 払 費 用	29,961	未 払 費 用	104,949
預 け 金	25,951	賞 与 引 当 金	17,860
そ の 他	23,564	そ の 他	58,251
固 定 資 産	3,156,734	固 定 負 債	416,368
有形固定資産	(2,045,117)	リース債務	98,456
建 物	1,122,700	退職給付引当金	71,232
構 築 物	1,363	長 期 未 払 金	28,600
機 械 装 置	85,170	資 産 除 去 債 務	84,172
器 具 備 品	139,969	受 入 保 証 金	133,908
土 地	695,913	負 債 合 計	932,859
無形固定資産	(27,211)	純 資 産 の 部	
電 話 加 入 権	1,147	株 主 資 本	3,675,013
ソ フ ト ウ エ ア	25,783	資 本 金	(270,000)
そ の 他	280	資 本 剰 余 金	(13)
投資その他の資産	(1,084,404)	資 本 準 備 金	13
投 資 有 価 証 券	440,229	利 益 剰 余 金	(3,475,406)
関 係 会 社 株 式	10,000	利 益 準 備 金	67,500
差 入 保 証 金	573,144	そ の 他 利 益 剰 余 金	3,407,906
長 期 前 払 費 用	36,918	配 当 準 備 積 立 金	218,555
繰 延 税 金 資 産	24,112	別 途 積 立 金	2,380,000
		繰 越 利 益 剰 余 金	809,350
		自 己 株 式	(△70,406)
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	107,872
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	(107,872)
資 産 合 計	4,715,745	純 資 産 合 計	3,782,885
		負 債 純 資 産 合 計	4,715,745

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(平成31年4月1日から
令和2年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		3,809,428
売 上 原 価		1,964,012
売 上 総 利 益		1,845,415
販売費及び一般管理費		1,708,180
営 業 利 益		137,234
営 業 外 収 益		
受取利息及び配当金	10,911	
協賛金収入	10,085	
雑収入	1,852	22,849
営 業 外 費 用		
雑損失		1,152
経 常 利 益		158,931
税引前当期純利益		158,931
法人税、住民税及び事業税	28,157	
法人税等調整額	25,085	53,243
当 期 純 利 益		105,687

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会 社 の 状 況

■ 会社概要 (令和2年3月31日現在)

商 号 中日本興業株式会社 Nakanihon KOGYO. CO. Ltd.
本 社 名古屋市中村区名駅四丁目5番28号
設 立 昭和29年7月23日
資 本 金 2億7,000万円
従業員数 55名

■ 主要な事業所 (令和2年3月31日現在)

<映画館>

ミッドランドスクエア シネマ (14) 名古屋市中村区
ミッドランドシネマ 名古屋空港 (12) 愛知県西春日井郡豊山町

<飲食店>

覚王山カフェ Ji.Coo. 名古屋市中村区
LA BOBINE ガレットカフェ 名古屋市中村区

<展示装飾および看板の製作、広告代理店>

中日本エージェンシー 名古屋市中村区
中日本エージェンシー 東京営業室 東京都千代田区

(注) 1. () 内の数は、スクリーン数です。

2. 「ミッドランドスクエア シネマ」、および「LA BOBINE ガレットカフェ」は、当社と株式会社松竹マルチプレックスシアターズ（東京都中央区）との共同事業体が運営しております。

■ 役員（令和2年6月24日現在）

代表取締役社長	服部 徹	感動創造本部本部長 企画営業部担当 経営企画部担当
取締役	貴田 吉晴	感動創造支援本部本部長・総務部担当 経営企画部上席部長 食文化創造室担当 総務部部長
取締役	小塚 康	感動創造本部副本部長・興行部担当 興行部上席部長
取締役	鵜飼 正男	(社外取締役)
取締役	大谷 信義	(社外取締役)
常勤監査役	細川 秀樹	
監査役	岡本 安史	(社外監査役)
監査役	田中 誠治	(社外監査役)
執行役員	加藤 康章	感動創造支援本部副本部長・経理部担当 経営企画部部長、経理部部長

ホームページのご案内

当社のホームページにて、事業内容、サービス案内、決算情報等に関する詳しい情報がご覧いただけます。

<https://www.nakanihonkogyo.co.jp/>

中日本興業 検索

■ **株式の状況** (令和2年3月31日現在)

発行可能株式総数 2,000,000株
 発行済株式の総数 530,774株 (自己株式9,226株を除く)
 株主数 2,883名 (前期末比32名増)

■ **大株主** (令和2年3月31日現在)

株 主 名	持 株 数	持株比率
東 和 不 動 産 株 式 会 社	40,000株	7.53%
ト ヨ タ 自 動 車 株 式 会 社	30,000株	5.65%
松 竹 株 式 会 社	20,000株	3.76%
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	5,400株	1.01%
服 部 徹	5,200株	0.97%
岡 本 藤 太	4,700株	0.88%
廣 野 純 弘	4,392株	0.82%
濱 谷 亘 匠	4,300株	0.81%
服 部 敬 徳	3,000株	0.56%
横 山 秀 昭	2,700株	0.50%

(注) 持株比率は、自己株式 (9,226株) を控除して計算しております。

■ **所有者別株式分布状況** (令和2年3月31日現在)

所 有 者	株 主 数	株 式 数		
		比 率	比 率	比 率
金 融 機 関	1名	0.03%	5,400株	1.00%
金融商品取引業者	2名	0.07%	91株	0.02%
そ の 他 の 法 人	53名	1.84%	102,700株	19.02%
外 国 法 人 等	0名	0.00%	0株	0.00%
個 人 ・ そ の 他	2,826名	98.03%	422,583株	78.25%
自 己 名 義 株 式	1名	0.03%	9,226株	1.71%
計	2,883名	100.00%	540,000株	100.00%

「株主ご優待券」について

当社の株式1単元（100株）以上を期末（3月末日）および中間期末（9月末）に保有している株主の皆様に対し、次の要領で「株主ご優待券」を発行いたします。

3月末現在の株主の皆様は、8、9、10月、三ヶ月間内のご利用いただける「株主ご優待券」および11、12、翌年1月、三ヶ月間内のご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、6月の定時株主総会終了後、期末報告書に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

9月末現在の株主の皆様は、2、3、4月、三ヶ月間内のご利用いただける「株主ご優待券」および5、6、7月、三ヶ月間内のご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、12月初旬に中間報告書に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

発行基準

	使用期間三ヶ月	半 期
	映画＋カフェ	映画＋カフェ
100株以上	5枚 + 1枚	10枚 + 2枚
200株以上	10枚 + 2枚	20枚 + 4枚
300株以上	15枚 + 3枚	30枚 + 6枚
400株以上	20枚 + 4枚	40枚 + 8枚
500株以上	25枚 + 5枚	50枚 + 10枚
1,000株以上	40枚 + 8枚	80枚 + 16枚
2,000株以上	50枚 + 10枚	100枚 + 20枚
4,000株以上	75枚 + 15枚	150枚 + 30枚

ご利用可能施設

映画館		住 所	電話番号
ミッドランド スクエア シネマ	1～7番 スクリーン	名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア 商業棟5 F	(052) 527-8808
	8～14番 スクリーン	名古屋市中村区名駅4-11-27 シンフォニー豊田ビル2 F	
ミッドランドシネマ 名古屋空港		愛知県西春日井郡豊山町豊場林先1-8-501 エアポートウォーク名古屋内	(0568) 39-3911
カフェ		住 所	電話番号
覚王山カフェ Ji.Coo.		名古屋市千種区丘上町1-39 覚王山フランテ2 F	(052) 751-1234
LA BOBINE ガレットカフェ		名古屋市千種区名駅4-11-27 シンフォニー豊田ビル1 F	(052) 583-5541

※当報告書に同封しました株主ご優待券に限っては、使用期間が上記とは異なります。詳しくは、別紙お知らせをご参照ください。

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末配当金3月31日・中間配当金9月30日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載新聞	中部経済新聞
上場取引所	名古屋証券取引所 第二部 (証券コード: 9643)
インターネットアドレス	https://www.nakanihonkogogyo.co.jp/

単元未満株式の買取、住所変更等、 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとされており、お取引のある証券会社等にご照会ください。

なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行で承っております。特別口座の一部お手続き用紙のご請求は、次のお電話およびインターネットにより受け付けておりますので、ご利用ください。

電話 0120-232-711 (通話料無料)

インターネットアドレス <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式等に関するマイナンバーのお届けのお願い

- 株式等の税務関係のお手続きに関しては、マイナンバーのお届けが必要です。
- お届けが済んでいない株主様は、お取引のある証券会社等へマイナンバーのお届けをお願いします。
- お手続き方法など詳細につきましては、証券会社等へお問合せください。

